



平成29年10月に発行を開始した本通信は、令和元年5月号より「広報 小田原」と連動し、教育委員会の取組を紹介しています！



- ・教育委員会って何をしているところ？
- ・「教育委員会」ってニュースでは聞くけど、どんなことをしているの？  
何をしているのかあまり知られていない「教育委員会」！  
そこで！教育委員会各課の仕事について紹介していきます！  
今回は、教職員の働き方改革をテーマに、ご紹介します。



## 教職員の働き方改革 (教育指導課)

教員が心身ともに充実して子供たちと向き合い、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することが学校教育の充実につながることから、持続可能な学校における指導・運営体制の構築を目指して、教職員の働き方改革を推進します。

## よりよい学校を目指して働き方改革を推進します

社会環境の変化に伴い、学校を取り巻く環境は、いじめ、不登校や子供の貧困問題など複雑化、多様化しており、学校に求められる役割も拡大しています。また、グローバル教育などの新しい教育への対応なども求められています。

小田原市教育委員会では、「小田原市の教職員の働き方改革に関する指針」を策定し、教職員の意識改革や学校を支える人員体制の充実を図るなど、働き方改革に向けた総合的な取組を進めています。

小田原市の教職員の働き方改革の目標

### 時間外勤務の上限の設定

「条例等で定める勤務時間を超える在校等時間(時間外勤務)」が、1か月あたり45時間、1年あたり360時間を超えないようにします(特別の場合を除く)



「小田原市の教職員の働き方改革に関する指針」についてはこちらをご覧ください



### 年次休暇一人あたり年平均取得日数の設定

年次休暇一人あたり年平均取得日数 15日以上を目標とします。

### 「小田原市立中学校に係る部活動の方針」の遵守

年間指導計画の作成と、平日授業日及び休業日それぞれ方針に定められた日数の休養日の取得を徹底します。

## 学校ごとに「働き方改革」を具体的に推進するための目標を設定しています

♪ある学校の目標について紹介します♪

○会議は、事前に話し合う内容を厳選し、終わりの時間を決めて行います。

○午後7時過ぎは、一人で残らないように、お互いに声をかけ合います。

○PTA運営委員会等で、職員の働き方改革について理解を求めます。

○日課表を工夫して、授業時数の確保に併せて、会議や事務作業の時間を確保します。

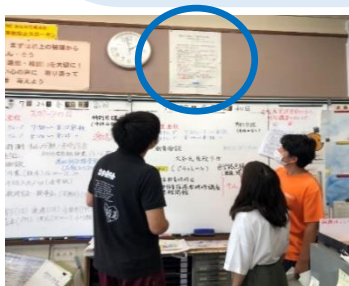
○校務支援システム（校内掲示板）を活用して、会議・打合せの効率化を目指します。

一人一改善を遂行します。

○仕事も悩みも一人で抱え込まず、チームで対応できる体制を作ります。

○年休や振替をいつ取るのか、学年会で積極的に話題にします。

○最終施錠時間を設定します（午後8時）



職員室に取り組みを掲げ、全職員が意識して業務にあたります。

超過勤務が月45時間を超えないような、多忙化が少しでも解消したと実感できるような職場づくりを職員全員で心がけます。

## 学校を支えるスタッフの配置を進めています

令和2年度からは、先生が授業などに専念できるように、学習プリントや通知等の文書の印刷・仕分け、授業や行事の準備補助、校内の環境整備等を行う「スクール・サポート・スタッフ」の配置を進めています。

他にも、6月の学校再開に際し、「小学校1年生への指導補助スタッフ」、「補習等のための指導員」を任用して児童・生徒への支援にあたっています。



現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、机の消毒等の環境整備も行っています



↑栢沼教育長（左）萩原美由紀さん（右）

## 萩原美由紀さん 全国市町村教育委員会 連合会功労者表彰受賞

前教育委員の萩原美由紀さんが、令和2年度全国市町村教育委員会連合会功労者表彰を受けました。

萩原さんにおかれましては、2期8年の長きにわたり教育委員として本市の教育行政に御尽力いただきました。

特に「多様性を認め、活かしていく教育のまちづくり」の実現に向け、インクルーシブ教育についてなど、様々な角度から御意見をいただきました。

【教育委員任期】平成23年（2011年）10月5日

～ 令和元年（2019年）10月4日